

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

・時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法（売却減価は総平均法により算定）

・時価のないもの・・・総平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務（期末要支給額）に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
銀行預金	84,327,413	0	0	84,327,413
有価証券	204,500,000	0	0	204,500,000
小 計	288,827,413	0	0	288,827,413
特定資産				
30周年記念事業積立資産	15,159,525	0	336,012	14,823,513
退職給付引当資産	0	610,000	0	610,000
小 計	15,159,525	610,000	336,012	15,433,513
合 計	303,986,938	610,000	336,012	304,260,926

（注記）特定資産の当期減少額は、3月末に時価評価した時の減少額である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
銀行預金	84,327,413	(0)	(84,327,413)	—
有価証券	204,500,000	(0)	(204,500,000)	—
小 計	288,827,413	(0)	(288,827,413)	—
特定資産				
30周年記念事業積立資産	14,823,513	(0)	(14,823,513)	—
退職給付引当資産	610,000	(0)	(610,000)	(610,000)
小 計	15,433,513	(0)	(15,433,513)	(610,000)
合 計	304,260,926	(0)	(304,260,926)	(610,000)

4. 担保に供している資産

該当無し

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	323,000	316,534	6,466
リース資産（光電話NTT主装置他）	661,500	7,875	653,625
合 計	984,500	324,409	660,091

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当無し

7. 保証債務等の偶発債務
該当無し

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損(△)益
ユーロ円建債	100,000,000	70,800,000	△ 29,200,000
政府保証債	10,000,000	10,369,050	369,050
野村ホールディングス社債	10,000,000	10,147,670	147,670
神奈川県公債	20,000,000	20,836,000	836,000
広島県公債	21,000,000	22,222,200	1,222,200
京都市公債	16,000,000	16,907,200	907,200
国債(三菱UFJ信託)	3,000,000	—	—
三菱東京UFJ銀行社債	2,500,000	2,530,600	30,600
みずほ銀行社債	2,000,000	2,030,000	30,000
国債(大和証券)	20,000,000	20,774,000	774,000
合 計	204,500,000	—	—

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
助成金					
14テーマ事業	(株)セディナ	20,041,000	20,041,000	0	
タンガニヤ・モデル造林・ 裁縫教室事業	エキスパートチャリティー アソシエーション	2,450,000	2,450,000	0	
寄付金					
裁縫教室事業	国際プロフェシスト浜松	50,000	50,000	0	
合 計		22,541,000	22,541,000	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	摘 要
14テーマ事業	20,041,000	補助金は本年度内使用につき、直接一般正味財産振替処理
タンガニヤ・モデル造林・ 裁縫教室事業	2,450,000	補助金は本年度内使用につき、直接一般正味財産振替処理
裁縫教室事業	50,000	寄付金は本年度内使用につき、直接一般正味財産振替処理
合 計	22,541,000	

11. 関連当事者との取引内容
該当無し

12. 重要な後発事象
該当無し

13. その他
該当無し